

各 位

公益社団法人 日本工学教育協会  
会 長 小 豆 畑 茂  
工 学 教 育 賞 選 考 委 員 会  
委 員 長 森 口 泰 孝  
(印省略)

第23回(2018年度)工学教育賞の推薦について(依頼)

拝啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本工学教育協会では、わが国の工学教育ならびに技術者教育等に対する先導的、革新的な試みによって、その発展に多大の影響と貢献を与えた業績を表彰するために、工学教育賞を制定しています。創立60周年を機に公益社団法人として顕彰事業の見直しを行い、2012年度から日本工学教育協会賞を統合した新しい工学教育賞制度で募集を開始しております。なお、これまでと同様に、最高の業績については、文部科学大臣賞の授与を申請いたします。

つきましては、別添の「工学教育賞募集案内」に基づき、候補者がおられましたらご推薦くださいますようお願い申し上げます。なお、2019年9月には、日本工学教育協会年次大会が開催され、その席上で表彰式が執り行われます。

この募集の概要は、日本工学教育協会「工学教育」誌9月号にも掲載されます。敬具

応募締切：2019年1月11日(金)

添付資料： 工学教育賞募集案内

以上



工学教育賞  
募集案内

公益社団法人日本工学教育協会

## 1 工学教育賞設立の趣旨

これからの我が国の成長を目指して、優れた人材の継続的養成は重要な課題とされております。特に発展を支えるエンジニアを育成する工学系教育の大切さは、グローバル化が進化した社会においてさらに高まってきています。この中で、工学の幅広い分野とそれを実践で活かせる能力を養成するための優れた教育に対する期待はますます高くなってきています。この状況において、様々な手法や観点により優れた工学教育を推進・実践している個人・団体に工学教育賞を授与して、これらを顕彰します。加えて、工学教育へ関わる多くの方々の意識・意欲の向上も目指しています。

注) 第17回(2012年度)から日本工学教育協会賞を統合いたしました。

## 2 応募方法

工学教育賞規程ならびに下記の事項に基づき、所定の書式に必要事項を記入し工学教育賞選考委員長に提出してください。

### 2.1 記入内容・方法

- 2.1.1 標題は、できるだけわかり易く、かつ内容を具体的に示す標題にしてください。
- 2.1.2 分類は、表1のキーワード例を参考に「分野」、「対象者」、「対象領域」ごとに一つずつ記入してください。前述の3つの分類に当てはまらない特徴があれば「その他」に記入してください。
- 2.1.3 候補者の種別は、個人、連名、団体のいずれかを選んでください。
- 2.1.4 連名の場合は、候補者の情報は全ての方について記入してください。団体の場合は、団体名に加え、代表者1名の情報を記入してください。
- 2.1.5 推薦理由の内容は、あくまで、工学・技術者教育等の発展に多大の影響と貢献を与えたことに限ります。なお、学協会の部門長、例えば出版部門長も推薦者の資格を有します。
- 2.1.6 業績の概要は、主な特徴と他と比べて優れている点などを簡潔に述べてください。
- 2.1.7 業績の内容については、教育の内容、期間、対象、評価・効果や普及の状況について、具体的に記してください。なお、論文・論説部門の場合は記述する必要はありません。
- 2.1.8 応募業績に関係が深い内容で他団体からの受賞がある場合は、その関連性を記載してください。

### 2.2 注意いただきたい事項

- 1) 一定の実績を積み検証され、継続に向け改善の方向などが見えていること。
- 2) その年に応募する必然性を明確に記述・記載すること。
- 3) 各部門の趣旨に合った応募部門を選択すること。
- 4) 他の同類の教育事例に比べて、優れている点、秀でている点を明確に記述・記載すること。
- 5) 規定されたフォーマットや、ページ制限、文字数など厳守すること。文字の大きさや行間もできるだけ変更しない。
- 6) 応募書類は推敲して誤記のないこと。
- 7) 「推薦の理由」の記述については、重要な評価項目であり、推薦者が本人であるような記述は絶対に避けること。また、推薦者と被推薦者が同じ人物になることは絶対に避けること。

(応募資格)

第6条 候補者は、所属長あるいはそれと同等の個人から推薦された工学・技術者教育等を実践する個人または団体とする。複数の機関にまたがる団体での業績で応募する場合は、その代表者の所属機関長から推薦されたものとする。

(応募方法)

第7条 推薦は、次の事項を所定の書面により、所定の期日までに工学教育賞選考委員会委員長宛てに提出するものとする。

- (1) 候補者の氏名、所属機関、経歴
- (2) 推薦理由と業績内容説明書
- (3) 推薦者の氏名、所属機関

(選考と決定)

第8条 選考は工学教育賞選考委員会が行い、理事会にて決定する。

(規程の改廃)

第9条 本規程の改廃は理事会の承認を要する。

(その他)

第10条 本規程は平成27年9月10日より施行する。

附則

平成 8年12月12日制定  
平成 9年10月 1日改正  
平成15年 3月28日改正  
平成18年 3月28日改正  
平成21年 3月 4日改正  
平成22年 9月14日改正  
平成24年 6月18日改正  
平成25年 5月17日改正  
平成27年 9月10日改正

## 第23回(2018年度)工学教育賞 応募書式

部 門	<input type="checkbox"/> 業績部門 <input type="checkbox"/> 論文・論説部門 <input type="checkbox"/> 著作部門 <input type="checkbox"/> 功績部門		
ふり 標 題			
分 類 募集案内の表1を参 考にキーワードを一 つずつ記入ください。	分野：		対象領域：
	対象者：		その他：
候補者種別	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 連名 ( 名 ) <input type="checkbox"/> 団体		
候 補 者 連名の場合は、候補 者全員の情報を記 入。団体の場合は、 候補団体名と代表者 1名の情報を記入	所属機関 職名	ふり 氏 名	生年月日
推 薦 者	所属機関・職名		氏 名
			印
候 補 者 連 絡 先 連名・団体の場合は代表 者の連絡先	住 所	(〒 - )	
	所属機関 ・ 氏 名		
	Tel.		
	E-mail		
結 果 等 通 知 先 候補者と異なる場合 に記入	住 所	(〒 - )	
	所属機関 ・ 氏 名		
	Tel.		
	E-mail		
事務記入欄			

1. 推薦の理由【500字以内厳守】
2. 業績の概要【500字以内厳守】
3. 業績内容説明【6ページ以内厳守. 論文・論説部門の場合は不要】
(1) 趣旨・目的, 特色, 優位性, 独創性
(2) 具体的な内容・実施体制等
(3) 評価, 効果, 実績, 成果
(4) 参考資料一覧【論文・論説部門, 著作部門は原本を別に添付ください】
4. 関連する業績での他団体受賞実績
5. 候補者経歴【ページ制限外. 団体の場合は代表者の経歴を記入ください】

## 公益社団法人日本工学教育協会 委員会規程

平成 22 年 10 月 20 日制定  
平成 24 年 6 月 18 日改正  
平成 27 年 3 月 20 日改正  
平成 28 年 5 月 20 日改正

## (目的)

## 第 1 条

公益社団法人日本工学教育協会の委員会（以下委員会という）は、理事会により設置され、この法人の定款第 4 条に規定される事業を推進し、この法人を健全に管理運営することを目的とする。

## (構成)

## 第 2 条

委員会は、会員及び学識経験者のうちから、理事会が選任した委員長、若干名の副委員長、幹事、並びに委員により構成される。

## (委嘱)

## 第 3 条

委員長は、理事会の選任により会長が委嘱する。

2 委員は、理事会の選任により会長が委嘱する。

3 副委員長及び幹事は、理事会の選任により会長が委嘱する。

## (任務)

## 第 4 条

委員長は委員会の会務を総括する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある場合は、予め委員長の指名した者がその職務を代行する。（副委員長または複数名の副委員長のうちの 1 名、または幹事）

3 幹事は委員長または副委員長の指示に従い、議事録等の整理、委員会の運営に必要な事項につき事務局との折衝・連絡に当たる。

4 委員は第 7 条に定めた業務の実施に当たる。

## (任期)

## 第 5 条

委員長・副委員長・幹事および委員の任期は当該年度の定時総会時から 2 年とし、再任を妨げない。

2 委員長、副委員長、幹事および委員に欠員が出た場合の後任者の任期は前任者の残任期とする。また、任期満了後であっても後任者が就任するまでは、なおその職責を負うものとする。

## (会議)

## 第 6 条

委員長は必要の都度、委員会を開催し、議長となる。

2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者を出席させることができる。

(所掌事項)

第 7 条

委員会の所掌事項は別紙 1 の内容によるものとする。

(部会またはワーキング・グループ)

第 8 条

活動の実施を図るため、委員会内に部会またはワーキング・グループを置くことができる。

2 部会またはワーキング・グループの主査は委員の中から選任し、委員長が委嘱する。

3 主査は委員長の指定した事業に対して部会またはワーキング・グループを設置し、その事業を行う。なお、本委員会委員以外の者を部会またはワーキング・グループメンバーとして委嘱することができる。

4 部会またはワーキング・グループの主査およびメンバーの任期は、原則として第 5 条に述べる委員長等の任期に同じとする。

(規程の改廃)

第 9 条

本規程の改廃は理事会の承認を要する。

(細則)

第 10 条

本規程の施行についての細則は、必要に応じて委員会が別に定め、理事会の承認を得るものとする。

(その他)

第 11 条

本規程は平成 22 年 10 月 1 日より施行する。

本規程は平成 24 年 6 月 18 日より施行する。

本規程は平成 27 年 3 月 20 日より施行する。

本規程は平成 28 年 5 月 20 日より施行する。



## 別紙1 委員会規程第7条

委員 会名	7 条	総務・財務	事業企画	工学教育研究会	調査研究	広報	編集・出版	教育士(工学・技術)	工学教育賞選考	国際	企業技術者教育	名誉会員選考
1	本協会の総務に 関すること全般	シンポジウム、セ ミナー、講演会、講 習会、研究会、懇 談会、その他本会 として有意義なイ ベント事業の企画、 運営	講演集に関する 事項	各調査事業内容 による	学協会並びに行政 との情報提供・連 絡	論文誌その他の刊 行物の発行、編集 の基本方針に關す ること	教育士(工学・技 術)資格制度に關 する資格審査の業 務(資格認定候補 者を取りまとめ、 並びに企画、運 営)	工学教育賞の募集 、審査、授与に關 すること	工学教育の国際 化の推進、海外情 報の収集等に関 する立案と推進	賛助会員、企業 正会員の業種を超 えた技術者の継 続的能力開発に ついての技術開 発、相互交換、 相互交換の推進	名譽会員選考 進	名譽会員選考
2	本協会の財務・経 理に關すること全 般	本協会と地区教 育の企画、運 営	応募講演内容の 審査、選考に關 する事項		正会員及び賛助 会員への広報活 動	投稿規定の制定 、改定	継続ポイン ト制度に關する 企画・運営	工学教育賞規程 の改定に關する こと	本協会が会員 である海外の諸 団体(AEE、SE AP、WFEOなど )との連絡並び に代表派遣	高等教育機関 と商業界の継続 的能力開発に關 する情報交換、 相互交換の推 進	名譽会員選考 進への推薦	名譽会員選考
3	その他本業務遂 行に必要事項	調査研究、交流 事業の企画、運 営	講演プログラ ムの編成に關する 事項		その他本業務 遂行に必要事項	論文、資料等 の審査に關する こと	教育力向上 セミナー、シン ポジウム、ワー クショップなどの 企画、実行	その他本業務 遂行に必要事項	本協会で連携 あるいは協力 関係にある諸 団体との交流・ 情報交換	本協会と連携 あるいは協力 関係にある諸 団体との交流・ 情報交換	名譽会員選考 進への推薦 し、改正	名譽会員選考
4		その他本業務 遂行に必要事項	講演論文集の 編集に關する事項			その他本業務 遂行に必要事項	調査研究、交 流事業の企画、 実行			本協会の他の 委員からの委 任による工学 教育に關する 海外の事情等 の調査	その他本業務 遂行に必要事項	その他本業務 遂行に必要事項
5			その他本業務 遂行に必要事項					その他本業務 遂行に必要事項				

所  
掌  
事  
項

2013年度 H26.8.28 (62回大会)	第18回工学教育賞	文部科学大臣賞 業績部門	矢ヶ崎 隆義 倉田 純一 河原 秀久 山本 健 坂元 仁 合野 一弥 東京工業大学・大学院工学研究科・原子核工学専攻 教授 東北大学工学部 機械知能・航空工学科 名古屋工業大学・名工大TIDAプログラム実施部会 山村 雅幸 木賀 大介 瀧ノ上 正浩 小宮 健 沖 和哉 桃木 哲夫 長谷部 伸治 森澤 真輔 原野 智哉 菅田 修司 川畑 成之 西本 浩司 安田 武司 宮川 英明 磯田 節子 下田 貞善 内山 忠 河辺 哲次 齋藤 泰洋 松下 洋介 青木 秀之 富田 博之	工学院大学 教授 関西大学 准教授 関西大学 准教授 関西大学 特任助教 仙台高等専門学校 教授 東京工業大学・大学院工学研究科・原子核工学専攻 教授 東北大学工学部 機械知能・航空工学科 名古屋工業大学・名工大TIDAプログラム実施部会 東京工業大学 教授 東京工業大学 准教授 東京工業大学 講師 東京工業大学 助教 京都大学 講師 京都大学 教授 京都大学 教授 京都大学 教授 阿南工業高等専門学校 准教授 阿南工業高等専門学校 教授 阿南工業高等専門学校 准教授 阿南工業高等専門学校 准教授 阿南工業高等専門学校 助教 熊本高等専門学校 校長 熊本高等専門学校 教授 熊本高等専門学校 教授 熊本高等専門学校 教授 九州大学 教授 東北大学 助教 東北大学 准教授 東北大学 教授 京都大学 名誉教授	科学教育面における社会貢献事業の新しい工学教育システムとしての構築～大学理工学主導の医学・薬学・看護学連携教育とその基盤形成に運動した学校理科縦貫教育の先進的活動 高専生による出前授業を通じた地域理科教育活動への貢献 全寮制「グローバル原力安全・セキュリティ・エージェンツ養成」学位プログラムの構築 学士・博士9年一貫国際機械工学コースの構築 「名工大TIDAプログラム」の実践を通じて開発した、意欲ある学生対象の工学基礎教育 国際学生コンメンタスを通じた多分野共同型の次世代生物工学教育 産官学連携と異分野交流による博士人材の育成(工学教育60巻1号, pp. 23-28) 日米学生の学習意欲に及ぼすキャリア意識の影響と効果的なコーオプ教育導入への一考察(工学教育61巻1号, pp. 128-133) 社会を教室とする新しいエンジニア教育(工学教育61巻1号, pp. 106-112) 教科書「工科系のための 解析力学」の刊行 及び基礎物理学と基礎数学に関する「Forum90/95プログラムミング」による実践型演習 離島の家電修理ボランティア活動にみる地域連携型アクティブ・ラーニングの実践
	第19回工学教育賞	功績部門 文部科学大臣賞	該当者なし 安戸 道明 小野寺 良二 金沢工業高等学校先進教育推進室 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 工学院大学グローバルエンジニアリング学部 小林 正美 中川 理 日向 進 石田 潤一郎 西田 雅嗣 矢ヶ崎 善太郎 大田 省一 笠原 一人 玉田 浩之 平山 けい 田中 博 太田 佐栄子 玉城 龍洋 山北 昌毅 須惠 耕二	鶴岡工業高等専門学校 准教授 鶴岡工業高等専門学校 准教授 鶴岡工業高等専門学校 准教授 工学院大学グローバルエンジニアリング学部 筑波大学 准教授 京都工業繊維大学 教授 京都工業繊維大学 名誉教授 京都工業繊維大学 教授 京都工業繊維大学 准教授 京都工業繊維大学 准教授 京都工業繊維大学 准教授 京都工業繊維大学 助教 大手前大学 准教授 沖縄工業高等専門学校 教授 沖縄工業高等専門学校 准教授 沖縄工業高等専門学校 准教授 沖縄工業高等専門学校 准教授 東京工業大学 准教授 熊本大学 技術専門職員 熊本大学 技術職員	工学教育を基盤とした新しい形の地域連携教育の推進 産官学協働の地域密着型インフラ維持管理技術者の育成 工学院大学グローバルエンジニアリング学部のエンジニアリングデザイン教育の実績 筑波大学発「おもしろふしぎ理科実験」工作隊ー建築リソースマネジメントの人材育成教育プログラム 地域科学技術教育への貢献とそこで活躍する学生の人間力育成の取組み 国際デザインコンクレンストIDCロボコンによるグローバル理工人教育 全官庁の点字学習を支援する学生協働型社会貢献プロジェクトの実践(工学教育62巻3号, pp.34-39)
2014年度 H27.9.2 (63回大会)	第19回工学教育賞	功績部門 文部科学大臣賞	該当者なし 安戸 道明 小野寺 良二 金沢工業高等学校先進教育推進室 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 工学院大学グローバルエンジニアリング学部 小林 正美 中川 理 日向 進 石田 潤一郎 西田 雅嗣 矢ヶ崎 善太郎 大田 省一 笠原 一人 玉田 浩之 平山 けい 田中 博 太田 佐栄子 玉城 龍洋 山北 昌毅 須惠 耕二	鶴岡工業高等専門学校 准教授 鶴岡工業高等専門学校 准教授 鶴岡工業高等専門学校 准教授 工学院大学グローバルエンジニアリング学部 筑波大学 准教授 京都工業繊維大学 教授 京都工業繊維大学 名誉教授 京都工業繊維大学 教授 京都工業繊維大学 准教授 京都工業繊維大学 准教授 京都工業繊維大学 准教授 京都工業繊維大学 助教 大手前大学 准教授 沖縄工業高等専門学校 教授 沖縄工業高等専門学校 准教授 沖縄工業高等専門学校 准教授 沖縄工業高等専門学校 准教授 東京工業大学 准教授 熊本大学 技術専門職員 熊本大学 技術職員	工学教育を基盤とした新しい形の地域連携教育の推進 産官学協働の地域密着型インフラ維持管理技術者の育成 工学院大学グローバルエンジニアリング学部のエンジニアリングデザイン教育の実績 筑波大学発「おもしろふしぎ理科実験」工作隊ー建築リソースマネジメントの人材育成教育プログラム 地域科学技術教育への貢献とそこで活躍する学生の人間力育成の取組み 国際デザインコンクレンストIDCロボコンによるグローバル理工人教育 全官庁の点字学習を支援する学生協働型社会貢献プロジェクトの実践(工学教育62巻3号, pp.34-39)

工学教育賞・日本工学教育協会賞 受賞者リスト(直近5年間)

年度 (大会)	受賞者	所属	受賞理由
2015年度 H28.9.5 (64回大会)	論文・論説部門	松田 樹也 寺村 浩徳	熊本大学 技術職員 熊本大学 技術職員
	著作部門	西澤 一	豊田工業高等専門学校 教授
		井上 雅裕	豊田工業高等専門学校 教授 豊田工業高等専門学校 准教授 芝浦工業大学 教授 芝浦工業大学 教授 芝浦工業大学 教授
	著作部門	森村 久美子	東京大学 准教授
	功績部門	佐藤 正明	東北大学 准教授
	文部科学大臣賞	九州大学	大学院総合工学研究センタープロジェクト
		熊本大学	工学部附属グローバルものづくり教育センター
	業績部門	近藤 健雄	日本大学 特任教授 日本大学 専任講師 日本大学 専任講師
	業績部門	谷藤 尚貴	米子工業高等専門学校 准教授
	業績部門	沼山 恵子	東北大学 准教授
	業績部門	前田 英寿	東北大学 特任教授
	業績部門	篠崎 道彦	芝浦工業大学 教授
	業績部門	桑田 仁	芝浦工業大学 教授
	業績部門	谷口 大造	芝浦工業大学 教授
	論文・論説部門	該当者なし	
著作部門	寺嶋 一彦	豊橋技術科学大学 教授	
2016年度 H29.8.29 (65回大会)	文部科学大臣賞	仙台商専	工学部 教授
		株式会社HJ技術開発本部	技術研究所、アズビル株式会社技術開発本部技術総
	業績部門	岩手大学	工学部 准教授
	業績部門	岩手大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	論文・論説部門	富岡 義人	新潟大学 准教授
	論文・論説部門	小野 徹郎	名古屋工業大学 名誉教授
功績部門	該当者なし		
第21回工学教育賞	文部科学大臣賞	仙台商専	工学部 教授
	業績部門	株式会社HJ技術開発本部	技術研究所、アズビル株式会社技術開発本部技術総
	業績部門	岩手大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	業績部門	工学院大学	工学部 准教授
	論文・論説部門	高原 健爾	福岡工業大学 教授
	論文・論説部門	鷲崎 弘宣	早稲田大学 教授
論文・論説部門	須永 祐輔	日本アイ・ピー・エム 社員	
論文・論説部門	眞 捷彦	早稲田大学 名誉教授	
論文・論説部門	深澤 良彰	早稲田大学 教授	

2017年度 H30.8.29 (66回大会)	第22回工学教育賞	著作部門	山戸 昭三   愛媛大学 教授	pp.69-76, 2017)	有機化学における実践的教育の展開と「Professional Engineer Library (PEL)有機化学」著作
			大久保 雅司   NECマホジメントパートナー シニアマネージャ		
		著作部門	櫻間 由幸   米子工業高等専門学校 准教授		
			鈴木 秋弘   長岡工業高等専門学校 教授		
			亀山 雅之   小山市立工業高等専門学校 教授		
			真田 卓   大阪府立大学 工業高等専門学校 教授		
			大島 賢治   熊本高等専門学校 教授		
			藤本 大輔   有明工業高等専門学校 准教授		
			三枝 隆裕   沖縄工業高等専門学校 教授		
			濱田 泰輔   沖縄工業高等専門学校 教授		
			川淵 浩之   富山高専専門学校 教授		
			菊地 康昭   八戸工業高等専門学校 教授		
			赤羽 良一   長崎大学 教授		
			前川 博史   長岡技術科学大学 教授		
			飯尾 英夫   大阪市立大学 名誉教授		
		著作部門	永田 照三   静岡大学 技術専門職員		工学系初年度実習教育と地域貢献活動に関する教科書・参考書4編の著作による工学教育への貢献
			戎 俊男   静岡大学 技術専門職員		
			太田 信二郎   静岡大学 技術専門職員		
			水野 隆   静岡大学 技術専門職員		
		功績部門	谷口 功   国立高等専門学校機構 理事長		教育機関の枠を越えた工学教育システムの構築と人材育成
		文部科学大臣賞	石川工業高等専門学校 建築学科		高専における地域を対象としたものづくり教育改革の継続的実践
		業績部門	齊藤 滋規   東京工業大学 教授		異分野協創エンジニアリングデザインプロジェクト
			坂本 啓   東京工業大学 准教授		
			竹田 陽子   東京工業大学 特任教授		
			角 征典   東京工業大学 特任講師		
		業績部門	芝浦工業大学システム理工学部, 大学院理工学研究科, 大官学事部		グローバル環境でイノベーションを創出するための人材育成プログラムの開発一分
		業績部門	須藤 祐子   東北大学 特任准教授		工学基礎教育の強化と学修到達度を評価する6年一貫学修レベル認定制度の構築
		業績部門	湯上 浩雄   東北大学 教授・副研究科長		
		業績部門	名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター		ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾
		論文・論説部門	川西 利昌   日本大学 名誉教授		理工系大学・高専の研究室不登校
		論文・論説部門	高田 拓   高知工業高等専門学校 准教授		宇宙人材教育に資するモデルロケット&缶サット講座のための教材開発と実施成果
		著作部門	荒木 雅弘   京都工業繊維大学 准教授		初学者のためのパターン認識・機械学習に関する教科書・参考書3編の著述
		著作部門	市崎 潤子   東京工業大学 助教		著書Dynamics of Glassy, Crystalline and Liquid Ionic Conductorsの出版に基づく国際的な工学教育への貢献
		功績部門	Carlos Leon   Universidad Complutense de Madrid, Professor		
			Kia L. Ngai   University of Pasa, Research Professor		
			伊藤 武志   全国高等学校土木教育研究会 相談役		工業系高等学校等における異才を放つ多様な功績